

5S活動で気持ちの良い職場作り

5S活動、様々な企業で取り入れられていると思いますが、高齢者施設・事業所ではまだまだのようです。施設等で5S研修を行っていますが、あらためて5S活動の基本と活動がもたらす効果について記します。

まず5Sとは整理(Seiri)整頓(Seiton)清掃(Seisou)清潔(Seiketu)躰(Situke)頭文字のSをとって、5Sといいます。「しっかり・しつこく・習慣・信頼・スパイラルアップ」等加えて7S・10Sともいいます。5S活動の目的は、仕事の質を向上させて、お客様満足度の向上を図ることで、今よりも「安全に、楽しく、楽に、正確に、早く、安く、快適」を基本に、職場をより快適でより安全なものにして、介護や生活支援サービスの効率・品質の向上、つまり顧客の「満足度向上」につなげていくものです。

具体的には①業務環境の整備を行うことにより、ヒューマンエラーの発生を防ぐ ②安全で快適な介護環境を提供し、満足度の向上を図る ③物品の適正な配置・管理を行うことで、時間とお金の無駄をなくす ④不要なものを整理することでスペースの有効活用を行う ⑤各部署の担当及び責任者の管理能力の向上を図ることになります。言い換えると「良い環境からしか良い介護サービスは生まれません」となります。

5S自体による効果としては①職場環境の美化 ②職員のモラル向上 ③業務の効率化④不具合流出の未然防止 ⑤職場の安全向上 ⑥整理整頓により職場環境をよく観ることから問題点の顕在化が図れる点があげられます。

更に5S活動が徹底されると ①モノを探す無駄や、指示の徹底による無駄が減少する効果 ②サービス提供の間違い、品質管理、顧客・クレーム対応の不徹底による無駄が減少する効果 ③通路の確保、表示の徹底による安全が確保される効果 ④情報管理による指示の明確化、物品管理の徹底による統制の向上、工程の管理による督促の徹底効果ができる効果 ⑤時間管理・服装・挨拶等が徹底し、モラルが向上する効果 ⑥施設が清潔に保たれているという好印象を与える営業の効果があげられ、お客様への信頼の向上となってあらわれてきます。まずはあなたのパソコンデータの整理整頓や身だしなみチェック等、やれることから、見えるところからやってみましょう。



長嶺 堅二郎